

# ニカラグアから 学んだこと

青年海外協力隊  
平成20年度1次隊  
小学校教諭 有村 健二  
(現:奈良県御所市立  
御所小学校 教諭)



# なぜ、青年海外協力隊として発展途上国に行こうと思ったのか？

---

- ・海外で教師として働くことに軽いあこがれを持っていた。
  - ・日本人学校ではなく、日本とは全く異なる文化に身をおいて、視野を広げられた。
-

# NICARAGUA (ニカラグア)

---

- ・人口: 550万人ほど

メスティーソ69% 白人17% 黒人9% インディヘナ諸民族5%

- ・面積: 日本の5分の1ほど

- ・成人識字率: 76.7%

(国連開発計画『人間開発報告07/08』)

- ・公用語: スペイン語(カリブ海側は英語が話される)

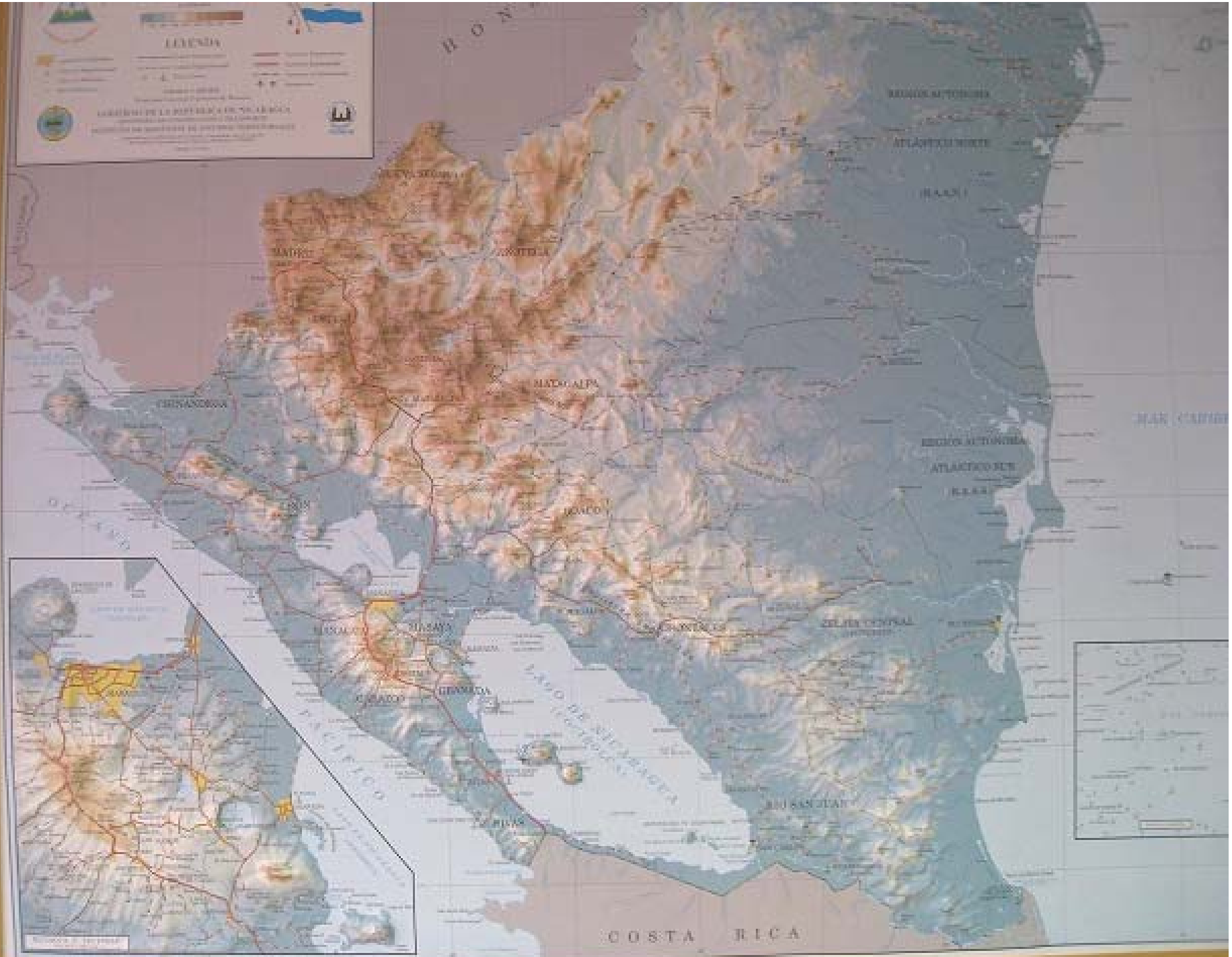
- ・1821年スペインから独立

- ・1979年から1990年まで内戦があった

---

**LEYENDA**

INSTITUTO NACIONAL DE ESTADÍSTICA Y CENSO  
 INSTITUTO NACIONAL DE GEOMÁTICA Y CARTOGRAFÍA  
 INSTITUTO NACIONAL DE INFORMÁTICA Y TELECOMUNICACIONES



# イメージしていた活動は？

---

- ・日本で培った経験を活かして教育技術を伝える。
- ・日本の教育、文化を伝える。
- ・日本の学校と連携し、現地の学校とつなぐ。

色々教えに行くんだ！！



# 実際におこなった活動は？

---

- ・教員養成学校で算数の教諭として現地教諭と共に、授業の計画、実施、反省や教材作成
- ・公開授業実施の補助
- ・小学校教員に向けた算数講習会
- ・日本文化紹介

あくまで現地の人为主役

---























ここからは、ビデオでお楽しみください。





全活動を通して、考えていたことは、

果たして、自分の活動が  
一人よがりの  
**自己満足**になっていないか？

現地の人にとって、  
意味のあるものなのか？

**「技術を移転する」  
と言って、  
「価値観を押し付けていないか」**



さて、ここで質問です。

もしアメリカ人がやってきて、  
こうやって教えるべきだと、  
カタコトの日本語で教えて  
きたらどうしますか？  
素直に聞けるでしょうか？

# 長期で生活したからこそ 感じられたこと

---

- 相手を理解する必要性、大切さ

「だれがお金を払うんだ！！」

「知らないから教えられない。」

---

道行く人に馬鹿にされた  
ことがありますか？



# 長期で生活したからこそ 感じられたこと

---

□ 日本人(アジア人)に対するイメージ

「チンチョンチャン、馬鹿にする人々」

「Aqui es su casa

(ここはもうあなたの家だよ)」

---

日本の国鳥は何でしょう？

# 長期で生活したからこそ 感じられたこと

---

□ なんて、面白いんだろう

「言葉を知り、文化を知り、人を知り、  
そこに溶け込むというのは。」

---



ゴ清聴ありがとうございます  
ございました。